



2020年、新たに印刷工場を建設。6色刷りの高速デジタル印刷で、多品種小ロットの印刷から大判印刷まで幅広いニーズに対応する

私たちの生活に欠かせない紙を、原料から製品まで一貫して製造する「岡山製紙」。創業から117年、変わらず板紙を製造している「紙づくり」のエキスパートだ。製紙業界は、景気にあまり左右されない安定性があり、同社は岡山の工場に機能が集約されているため転動もない。事業の大きな柱は、段ボール用の「中芯原紙」、紙筒の原紙となる「紙管原紙」を製造する板紙事業と、写真やグラフィックを施した美粧段ボールの製造事業。美粧段ボール事業は高性能の高速デジタル印刷機の導入により、大判印刷や多品種・小ロットの受注にも対応可能となった。段ボール古紙の再生からパッケージの制作まで、こ

製紙技術で地域の資源リサイクルに貢献。

れら二つの事業を通して地域の段ボールリサイクルに貢献することで、SDGsに取り組んでいる。

安心して仕事に励める、環境や福利厚生が充実。

安定的な業績を反映し、今春給与のベースアップも実施したほか、借上げ独身寮や社員食堂を備え、必要な資格は会社負担で取得できるなど福利厚生も充実。

入社してすぐに生活や仕事に馴染める環境が用意されている。また、仲間も上司も話しやすい気さくな人ばかり。スポンサードする「フジアールノ岡山」の応援やマラソンに社内の有志で参加するなど、和気あいあいとした雰囲気だそう。「生活の至る所に粉れ、社会を支える「紙」を作っている」という誇りを胸に、200年企業を目指し「紙づくり」に励んでいる。



1 印刷は環境に優しい水性インク 2 完成した原紙は検査をしたのちフォークリフトで倉庫に運ばれ、出荷されるまで保管される。一日約500t生産するそう 3 社員の有志でリレーマラソンに出場!

[公式HP]



株式会社岡山製紙
岡山市南区浜野1-4-34
☎086-262-1101



古紙再生からパッケージまで。
「紙づくり」のエキスパート。



おかやませいし
株式会社岡山製紙

事業内容

板紙事業・美粧段ボール事業

板紙の最初の製造工程「ワイヤーパート」。希釈したパルプを網の上に流し込み、紙になる部分を網の上に残す「紙すき」のような工程